



市民クラブ
山本 正信
議員

街なか居住のさらなる推進について

質問 街なか居住のため、本市では昨年より共同住宅建設の補助を拡充しているが、制度の利用実績と今後の中心市街地活性化基本計画期間を超えてのさらなる制度拡充策があるのか。

答弁 昨年12月に補助制度を拡充後2件の相談があります。今、中心市街地の人口は高齢者向け施設の建設もあり、2、817人と目標値を超えています。来年度以降の施策は、住宅施策検討会議で検討します。

個人住宅の建設の優遇策について

質問 中心市街地では多くの空き地が目立つが、集合住宅建設のみではなく、個人住宅建設の優遇策は考えていないのか。

答弁 現在、個人への優遇策は考えていませんが、住宅施策検討会

議（検討会議）の議論を踏まえコンパクトなまちづくりを目指した施策を見出します。

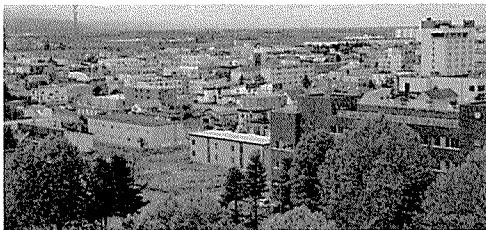
高齢者と若者の住宅政策について

質問 今、周辺住宅地で高齢化した夫婦二人世帯が増加しているが、子供たちや支援する人がいないときの冬の除雪、また車に乗れなくなったときの日常の買い物等の困窮世帯が増加している。そこで街なかにもっと公営住宅を建設し、

今までの住宅を若い子育て世代に格安で居住してもらうことで中心市街地に住む家賃に充てる仕組みづくりができないのか伺いたい。

答弁 街なか居住の必要性は認識しています。

本年度も検討会議が開催されるので、その仕組みづくりを論議し平成25年度の事業実施に向け検討します。



▲中心市街地の空き地



市民クラブ
荒木 文一
議員

中心市街地活性化について

質問 商店街の空き店舗対策が行われているが、後継者問題や高齢化により廃業するケースが多い。市のホームページを活用した事業継承者募集を実施したらどうか。

答弁 これまで市では、新規出店や様々な育成支援策を講じながら、事業主への意向調査を実施するなど、空き店舗解消に向けて施策を行ってきました。ご提言の事業継承者募集については、移住定住促進なども含め、関係団体とも協議しながら検討していきます。

介護保険居宅サービスについて

質問 市内居住者の「短期入所生活介護・短期入所療養介護（ショートステイ）」の利用実態はどうなっているか。希望者と受入れ可能数など、需給のバランスの視点で伺う。

答弁 市内施設の平成23年度利用件数は、特養で38件、老健で20

3件であり、施設側の空き状況により希望される施設入所が出来ないなど課題はありますが、近隣市町の施設をご利用いただくことでサービス提供が可能であると認識しています。



▲老人保健施設ナイスケアすずかけ

滝川市政功労者制度について

質問 審議会開催、記念品、弔慰金などを含め年間の費用はどれくらいかっているのか。また、この制度の継続については、廃止も含め再考する時期にきているのではないか。

答弁 平成23年度は、5名、2団体で約96万円ほどの費用が必要となっています。また弔慰金は、功労者3万円、奨励者2万円、供花は1万円程度です。制度の存廃に様々な議論があるのは承知していますが、大事なのは敬意と感謝を表すること。あり方は検討していきます。